

5 アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題

○車社会や大量消費の生活様式

アメリカ社会：自動車の大量生産により、世界で最初に（**車社会化**）が始まる
 →都市の郊外に巨大な（**ショッピングセンター**）がつくられる

（**大量生産・大量消費**）の生活様式の浸透

例）コンビニエンスストア、（**ファストフード**）店、通信販売やインターネットによる買い物など

（**多国籍企業** ***）の進出

→アメリカの生活様式が世界中の国々へ拡大

※（**多国籍企業**）とは、世界各国に販売や生産拠点をもち大企業のこと

○持続可能な社会を実現するための課題

アメリカの生活様式：資源を大量に消費することで成り立つ

→排出される廃棄物の量も多く、現在では資源を大切に作る動きが見られる

＜主な国の廃棄物の処分方法＞

アメリカ(2015) 2.4 億t	EU28 か国(2016) 2.3 億t	日本(2017) 0.4 億t
燃焼 12.8%	燃焼 5.6%	燃焼 80.3%
リサイクル 34.7	リサイクル 47.7	リサイクル 18.7
埋め立てなど 52.5	埋め立てなど 46.7	埋め立てなど 1.0

※日本は産業廃棄物を除いた値

石油や石炭などの消費量の増加

→二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量が増加、（**地球温暖化** ***）が進むと考えられている

→天然ガスの利用や、再生可能エネルギーの利用を進める取り組みが進む

※（**地球温暖化**）とは、地球全体の気温が上昇している現象のこと

＜世界のガソリン消費量と二酸化炭素の排出量の国別割合(2017)＞

ガソリンの消費量		二酸化炭素の排出量	
アメリカ	37.3%	中国	28.2%
中国	11.5	アメリカ	14.5
日本	3.6	インド	6.6
メキシコ	3.0	日本	3.4
カナダ	2.9	ドイツ	2.2
その他	41.7	その他	45.1
合計	11 億t	合計	328 億t